



プライム・ストラテジー株式会社

証券コード：5250

2024年11月期 第3四半期 決算説明資料



1. 新代表挨拶と新体制

新代表挨拶

2. 会社紹介

新体制転換の方針

3. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

PickUp
Point

テストマーケティングとテストセールス

4. 四半期ハイライト

5. 市場環境

6. 成長戦略

7. ステークホルダーの皆様へ

代表取締役 吉政 忠志

私たちプライム・ストラテジーは、WordPressのリーディングカンパニーの1社として、Linuxなどのオペレーティングシステム、Apache、Nginx、MySQL、PHPなどのミドルウェア、WordPressなどのアプリケーションを中心とするOSSに関するサービスを提供して参りました。その後、WordPressは大規模のWebシステムで採用されるようになり、表示速度やセキュリティ面、保守面の改善が市場の声として求められるようになりました。そこで、2015年より、超高速CMS実行環境「KUSANAGI」の一般無償提供を開始し、セキュリティ面、保守面を支援するべく、「KUSANAGIマネージドサービス」を展開し、常に顧客課題の解決に向けてサービスの開発を行って参りました。これらの製品やサービスが高く評価され、多くのお客様にご評価をいただけるようになりました。

近年、WordPressの国内CMSシェアは80%を超え、大手企業でのWordPress利用率も大幅に向上し、当社が担う責務もますます重くなってきております。この期待に応えるべく、今後も「KUSANAGI」「WEXAL」「KUSANAGIマネージドサービス」の強化に努め、エンタープライズOSSエコシステムの発展のために全力を尽くして参ります。

より高速に、より安全に、より手離れよくオープンソースソフトウェアをお客様のビジネスでご活用いただくために、私たちは、IT業界におけるユーザーの期待とベンダーの現実のギャップを解消し、エンタープライズOSS（オープンソースソフトウェア）エコシステム発展のために全力を尽くして参ります。一方で当社はAIや自動化を業務の中心で活用する企業という側面もあり、AI・自動化の知見とノウハウが多く蓄積されています。このノウハウを活かし、エンタープライズOSSエコシステム発展に尽力いたします。世界中のお客様、パートナーの皆様、ステークホルダーの皆様、引き続きご支援、ご指導のほど宜しくお願いいたします。



新体制転換の方針

KUSANAGIマネージドサービスのビジネスに
体制を集中させ、業務実行力を強化

マーケティング部を新設し、
売り上げ拡大のための勝ち筋を強化

KUSANAGI Security Editionの投入と
パートナープログラム改定による売上強化

AIビジネスとライセンスビジネスは
体制再編へ



テストマーケティングとテストセールス

従来の課題

- インバウンドによる案件獲得数が少なかった
 - 約5年間セミナーを実施していなかった
 - 製品/サービスページの検索順位が高くなかった
- トップセールスによる大型案件の獲得数が伸び悩んでいた



テストマーケティングとテストセールスの結果

- 7月～9月までのセミナー実施回数4回中 定員超え 3回
- 7月～9月までの平均セミナーコンバージョン率 14.7%
- Webページ課題解決 7ページ公開 セキュリティキーワードで検索順位上位ランキングイン
- CMO 吉政忠志によるトップセールス 5件中、営業活動継続4件、受注1件

「WordPress ランサムウェア」
「WordPress マネージドサービス」
「WordPress マネージドサービス
比較表」などで上位掲載

テストマーケティングで確立した手法を第4四半期以降で展開し、業績改善を狙います

1. 新代表挨拶と新体制

2. 会社紹介

3. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

4. 四半期ハイライト

5. 市場環境

6. 成長戦略

7. ステークホルダーの皆様へ

会社概要

マネジメントチーム

「KUSANAGI Stack」

事業内容

沿革及び業績動向

経営者の目から見た自社の強み

社名

プライム・ストラテジー株式会社
英文社名：PRIME STRATEGY CO., LTD.

設立年月日

2002年12月2日

所在地

〒102-0082
東京都千代田区一番町 8 番地 住友不動産一番町ビル 1 階

代表取締役

代表取締役 吉政忠志

従業員数（連結）

21名(2024年8月末)

資本金

439,796千円（2024年8月31日時点）

事業領域

KUSANAGI Stackの開発と提供

- 超高速CMS実行環境「KUSANAGI」
- 高速化エンジン「WEXAL® Page Speed Technology®」
- 戦略AI「ONIMARU® David」

KUSANAGI Stack事業

- KUSANAGIマネージドサービス
- クラウドインテグレーションサービス
- ライセンス販売

連結子会社

PRIME STRATEGY NEW YORK, INC.
(米国ニューヨーク州)

資本業務提携先



株式会社イントラスト 株式会社エアトリ



吉政 忠志 代表取締役
マーケティング部管掌

1992年 インテック入社
2010年 吉政創成株式会社 代表取締役就任
2011年 PHP技術者認定機構 理事長就任
2016年 一般社団法人Pythonエンジニア育成推進協会
代表理事就任
2018年 一般社団法人日本ネットワーク技術者協会
代表理事就任
2024年 プライム・ストラテジー株式会社 代表取締役就任

社外取締役

小舘 亮之
大崎 理乃
添田 繁永（監査等委員）
鈴木 隆之（監査等委員）
森田 芳玄（監査等委員）



中山 勝美 取締役
経営管理部管掌

1986年 有限会社家庭教師センター学習館入社
1987年 東京アカウンティング学院株式会社
（現TAC株式会社）入社
2012年 学校法人大阪歯科大学入職
2017年 当社入社 執行役員管理部長
2023年 当社取締役就任



池宮 紀昭 取締役
クラウドインテグレーション事業部管掌

2008年 株式会社コナミデジタルエンタテインメント入社
2016年 AppMedia株式会社入社
2018年 当社入社
2020年 当社クラウドインテグレーション事業部 部長就任
2020年 当社取締役就任

「KUSANAGI Stack」

すべての過程で高速化する市場唯一の製品群

KUSANAGI Stack

超高速CMS実行環境「KUSANAGI」
高速化エンジン「WEXAL Page Speed Technology」
戦略AI「ONIMARU David」

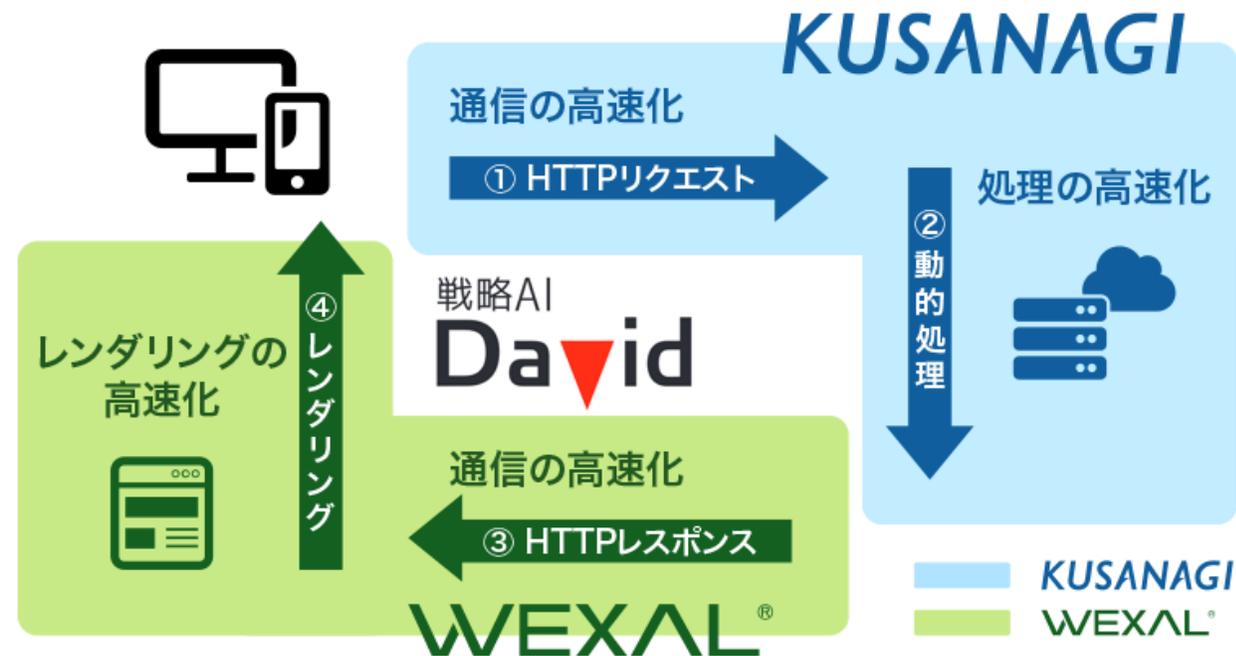


日本国特許第7523733号
日本国特許第7530383号
* 米国特許出願・審査中

28プラットフォームで展開※1
累計稼働台数9万台※2

SPEED & SECURITY & COST

画面表示するまでのすべての過程を高速にチューニング



※1: 2024年9月現在
※2: 2024年7月現在

「KUSANAGI」などコアとなる基礎技術・プロダクトの開発
AI・自動化などのテクノロジーを最大限活用した各種サービスの展開

ストック型ビジネスを中心に展開

ストック型ビジネス

ライセンス

売上比率 **15%**

有償版ライセンス

KUSANAGIのクラウド事業者を通じた世界販売



知的財産

ブランド/知的財産のライセンス提供

 XSERVER

KUSANAGIブランド

GMO INTERNET GROUP

国内特許取得済み
米国特許申請・審査中
知的財産

KUSANAGIマネージドサービス

売上比率 **70%**

KUSANAGI+KUSANAGIの開発元
としてのマネージドサービスの**付加価値**

単一のWebシステム保守運用サービス

顧客の単一のCMS等Webシステムの保守運用サービス

CMSプラットフォーム統合サービス

顧客の複数のCMS等Webシステムの統合管理サービス

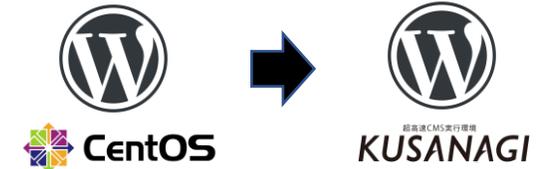
フロー型ビジネス

クラウドインテグレーションサービス

売上比率 **15%**

初期導入時のサービス

KUSANAGIマネージドサービス導入時のシステム移行



保守運用後のサービス

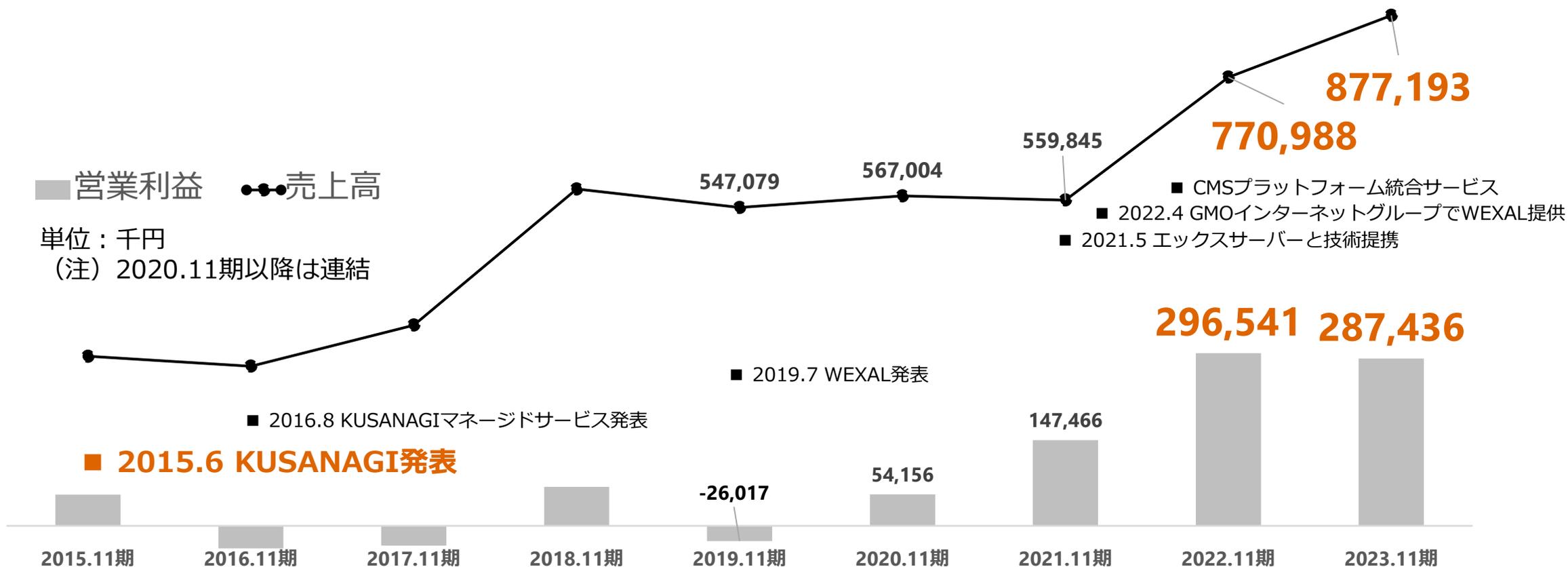
保守運用開始後の顧客Webシステムの追加開発

第1創業期 WordPress専門インテグレーター

WordPress専門インテグレーターとして、フロービジネスを展開。WordPress/PHP/Linuxに係る技術を蓄積し、2015年6月にKUSANAGIを発表

第2創業期 KUSANAGI Stack事業の展開

KUSANAGI Stackプロダクト群の開発およびストックビジネス中心の展開。自動化、AI化で利益成長フェーズへ



経営者の目から見た自社の強み

知的資本の
形成

ソフトウェアの
フリーミアムモデル
無料利用、広告宣伝の
コスト優位性

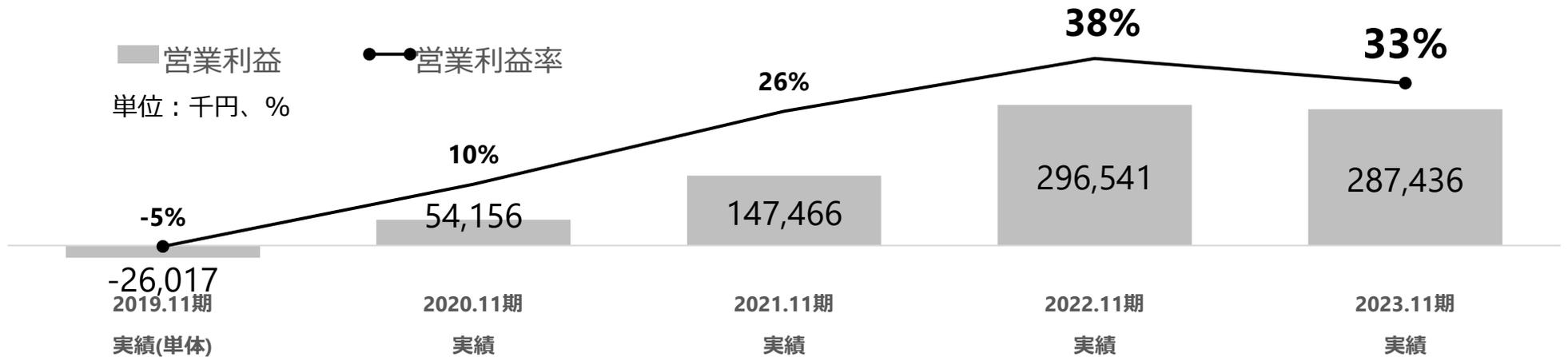
主要クラウドとの
パートナーシップ
AWS、Microsoft、
Google等11社

ハイパー
オートメーション
(AI等を用いた
高度な自動化)
高い生産性

OSからAIまで
先端技術の
開発体制

■ 営業利益
単位：千円、%

● 営業利益率



還元・再投資

知的資本の
発見

高い利益率
営業利益率
33%
2023.11期

高付加価値の
ストック型
ビジネスモデル
2024年8月時点
MRR 49,073千円

ライセンサーとして
知的財産権
を提供
2024年8月時点
MRR 11,305千円

利益成長率
CAGR74%
2020.11期
→2023.11期

目次

1. 新代表挨拶と新体制

2. 会社紹介

3. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

4. 四半期ハイライト

5. 市場環境

6. 成長戦略

7. ステークホルダーの皆様へ

CMS/WordPressとは

WordPressで狙われるのは

当社が実現するもの

超高速CMS実行環境「KUSANAGI」

「KUSANAGI」のパフォーマンス

Web表示高速化エンジン「WEXAL Page Speed Technology」 戦略AI「David」

「KUSANAGI」の拡がり

KUSANAGIマネージドサービスの競争力

KUSANAGI利用拡大の背景

CMS / WordPressとは

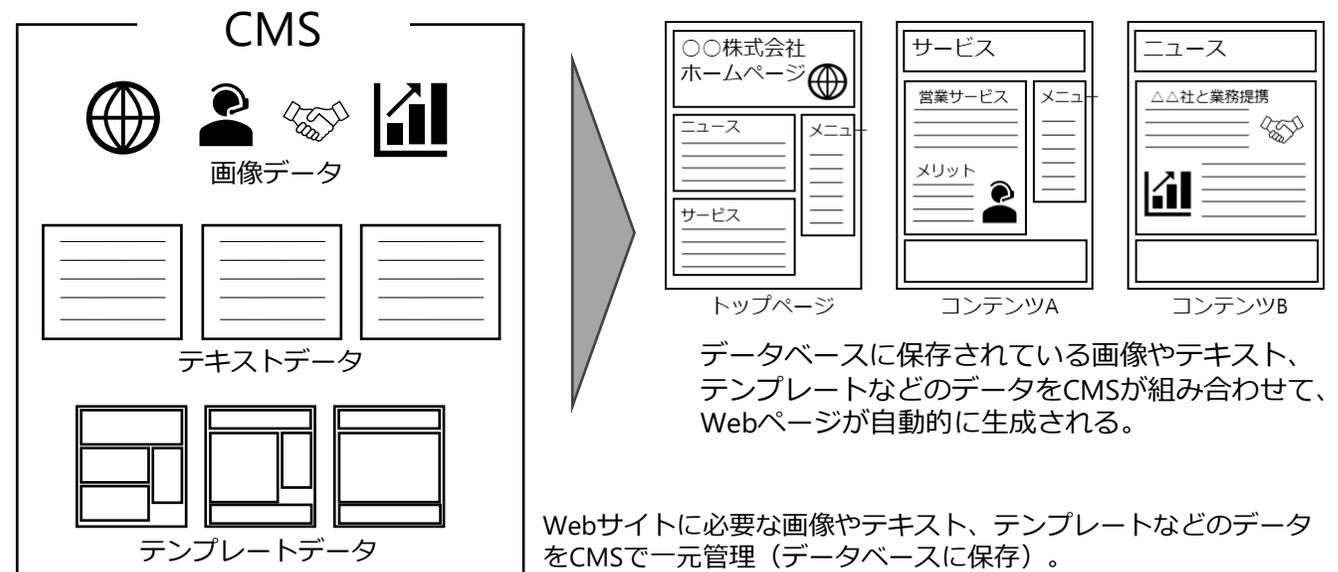
CMSとは、Webサイトに詳しくない人でも、プログラミングをせずにページの追加、更新ができるツール。文章や画像、レイアウトなどが一元管理され、効率的にWebサイトの運用ができます。CMSは全世界のWebの約70%に普及しているソリューションです。（[W3CTechs 2024年9月](#)）

CMSを「導入していない」Webサイト



1ページずつ完成系のWebページのデータを作成し、保存・管理している。Webページを作成する専門知識が必要。また、共通部分に変更があった場合、すべてのページを修正する必要があるなど、運用にも工数がかかる。

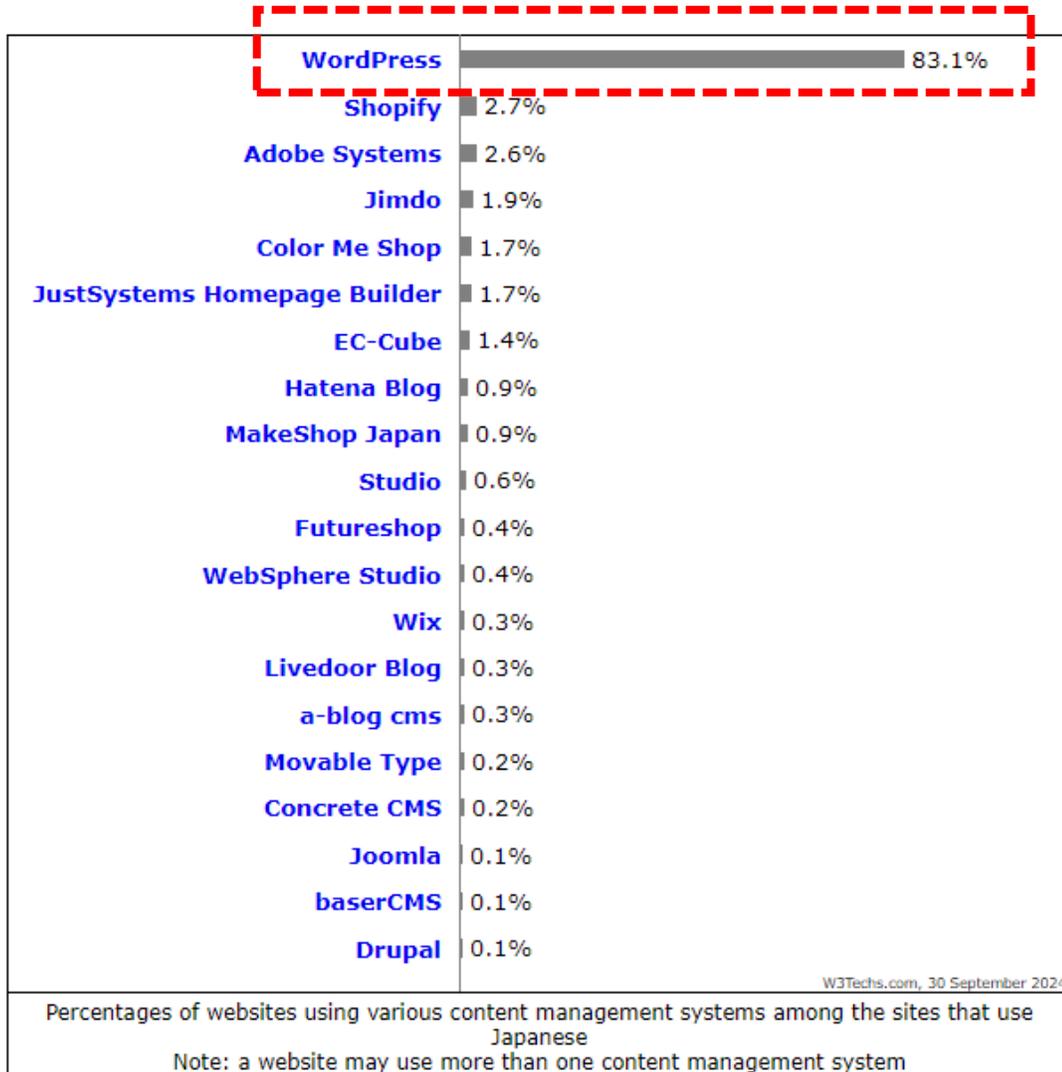
CMSを「導入している」Webサイト



Webサイトに必要な画像やテキスト、テンプレートなどのデータをCMSで一元管理（データベースに保存）。

専門知識なしでWebページの更新・追加ができることから、企業サイトから個人サイトまで、広くCMSが利用されるようになった。

WordPress（ワードプレス）は代表的なCMSの1つであり、国内のCMSの83.1%がWordPressを利用して構築されている。（[W3CTechs 2024年9月](#)）



一般的なCMSの良い点と課題

良いところ

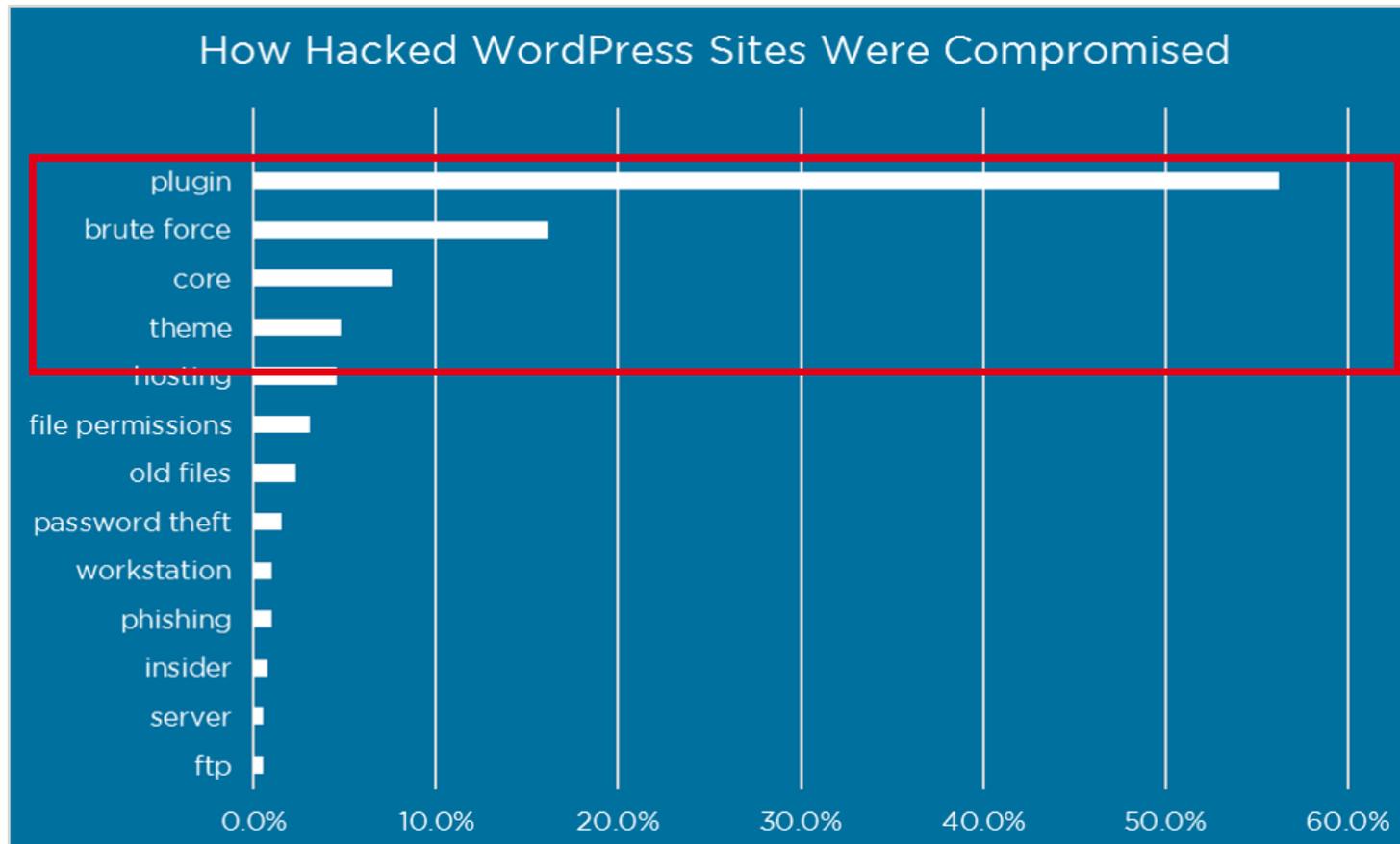
- ・コンテンツの更新が効率的
- ・カスタマイズが容易

動的CMSを利用した際の一般的な課題

- ・コンテンツの量が増えると表示速度が悪化
→SEOにも悪影響
- ・カスタマイズが増えるとバージョンアップに手間とコストがかかるようになる
→サイバー攻撃のターゲットになりやすい
- ・しっかりとした保守が要望される
→手離れよく管理し、利用者はコンテンツ制作などに専念したい

WordPressで狙われるのは

- WordPressサイトのハッキングの原因の60%以上が、プラグインやテーマの脆弱性によるもの
- **WordPress本体（Core）、プラグインやテーマの脆弱性対策**をすることで、**ハッキングのリスクを大幅に軽減**できる



当社が実現するもの

WordPressなどのCMSの課題を解決

当社KUSANAGI / WEXALが
表示速度を改善

KUSANAGIマネージドサービスが
お客様の手離れとセキュリティ
強化を実現





WordPress等のCMSやWebシステムを
高速かつ安全に動作させるための
OS(オペレーティングシステム)

28プラットフォーム
37カ国203リージョンで展開※1
累計稼働台数9万台※2



※1: 2024年9月現在
※2: 2024年7月現在

フリーミアムモデル

製品を無償提供することでプロダクトの認知度を
向上させ、運用保守サービスやライセンス販売等の
有償サービスへ繋げる戦略

無償版



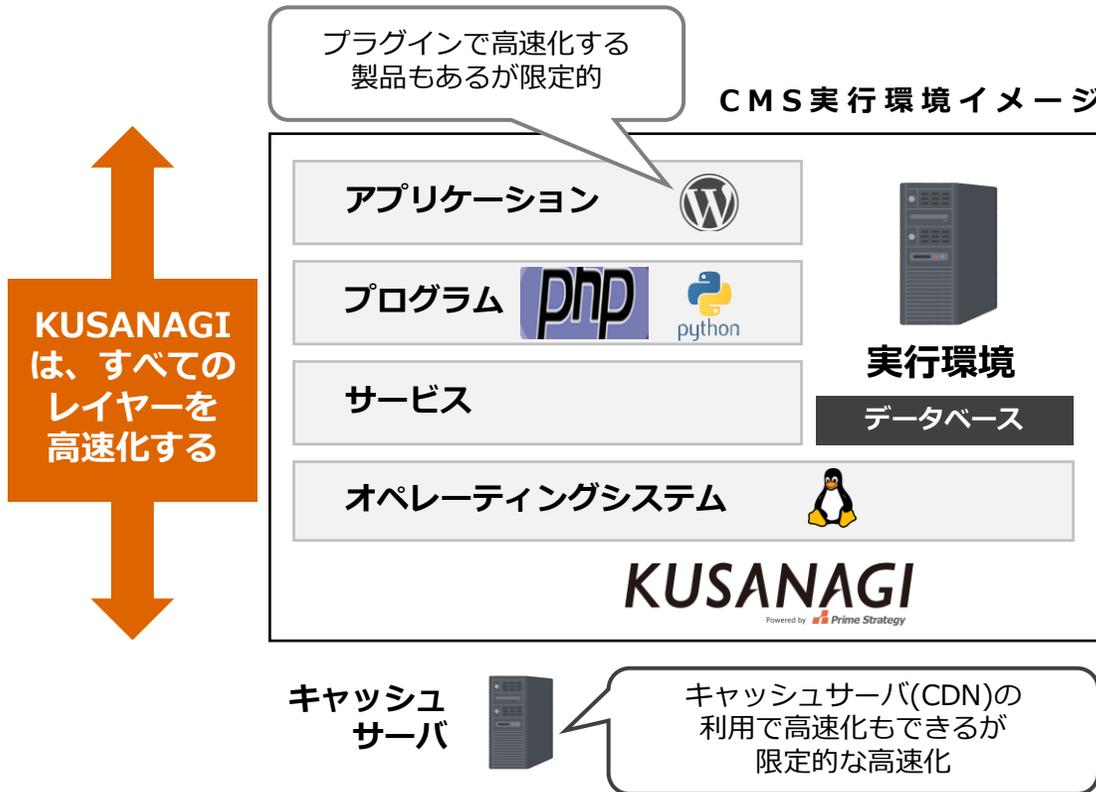
有償版



KUSANAGI
マネージドサービス

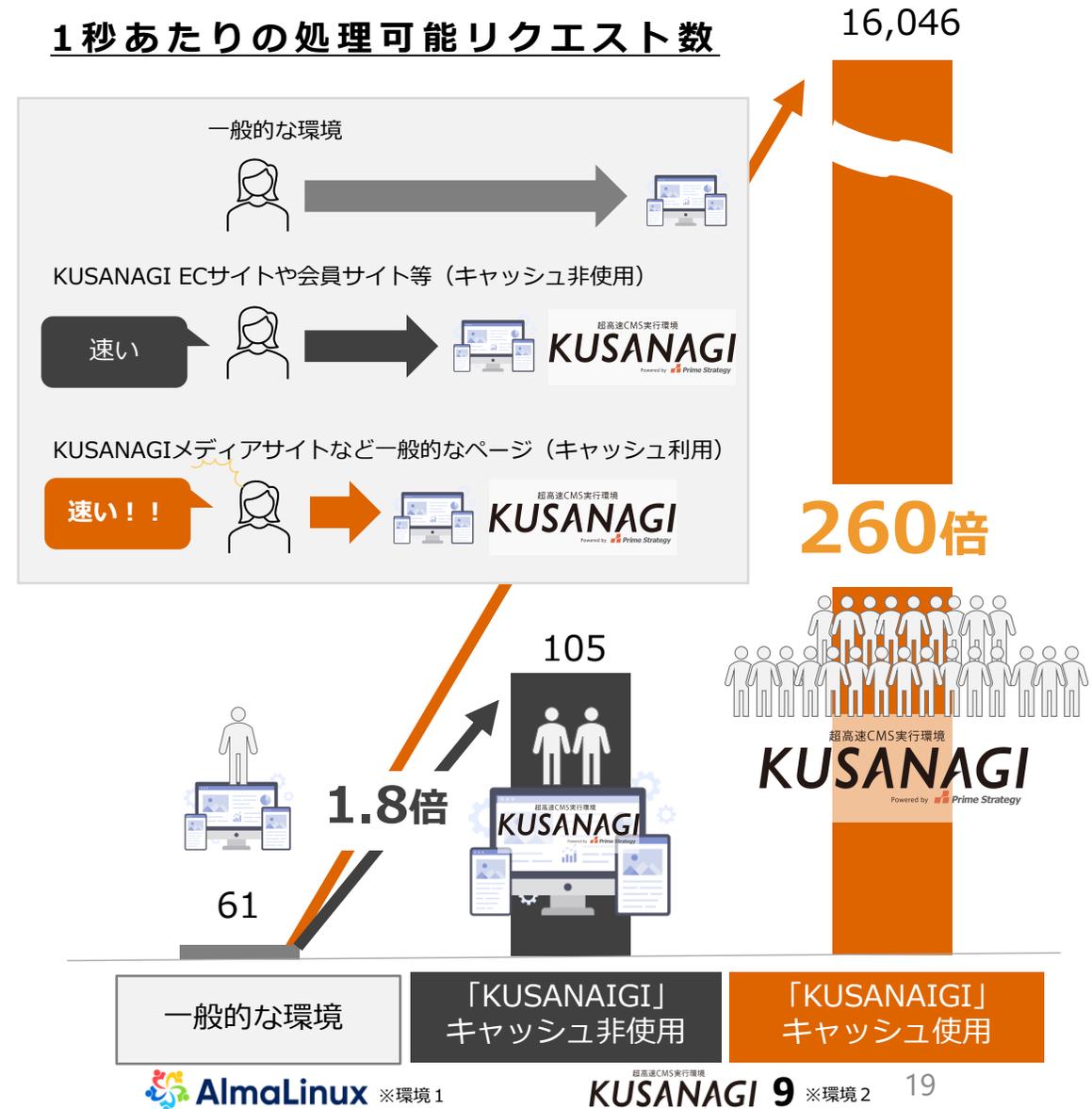
「KUSANAGI」のパフォーマンス

AWS、Microsoft Azure、Googleなどパブリッククラウド等の
 インフラ上で利用する希少性の高いソフトウェア
差別化された独自性の高い当社の基盤となるプロダクト



KUSANAGIはすべてのレイヤーを高速化
 ページキャッシュを利用しない場合でも高速化

1秒あたりの処理可能リクエスト数





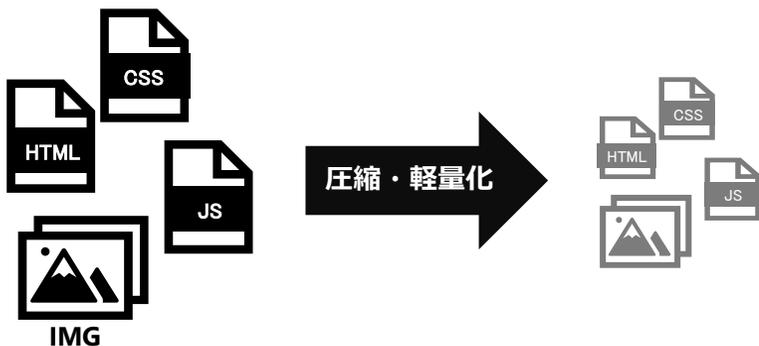
「WEXAL Page Speed Technology」は、Webシステムのための「高速化エンジン」。ブラウザ表示の自動チューニングを実施し、UX（ユーザー体験）の向上を実現します。

メリット

2

リソース最適化による高速化と転送量の削減

画像やJS、CSSのリソースを圧縮し、軽量化する。リソースの最適化により、表示の高速化だけでなく転送量を削減します。



メリット

1

戦略AI Davidによる最適化戦略の自動生成

戦略AI Davidがエンジニアに代わってブラウザの環境に合わせてページごとに最適化戦略を自動生成



戦略AI David 自動最適化

エンジニアが最適化に
悩む必要はない

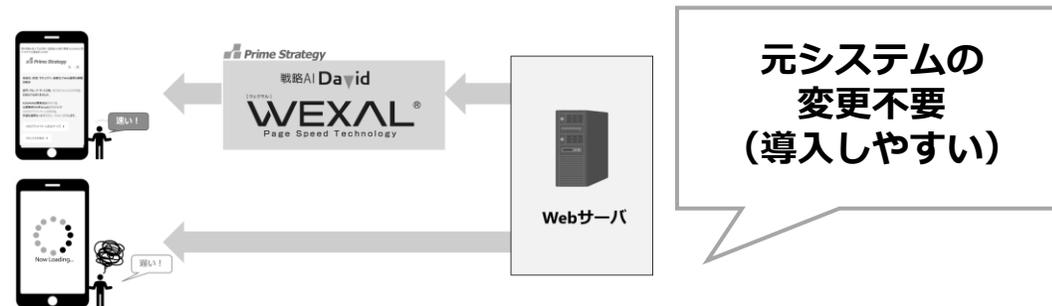


メリット

3

オリジナルデータの改変なし

オリジナルのリソースやプログラム、データベースに保存されているデータなどの改変は行わない。



世界で利用されるKUSANAGI

グローバルなCMS高速化ソリューションのデファクトスタンダードとして成長

(2024年7月現在)

国内外の主要な28プラットフォーム
37カ国203リージョンで利用可能 (2024年9月現在)



ORACLE
Cloud

vmware®

Alibaba Cloud



知的財産のライセンス提供

Xserver

GMO
INTERNET GROUP



KUSANAGI 累計稼働台数の推移



KUSANAGIマネージドサービスの競争力

KUSANAGIマネージドサービスとは企業向けWordPressサイトおよびサーバの運用管理まで行うマネージド型のサポートサービスです。マーケティング、Web担当者の方が本来の業務としているコンテンツ作成等に集中できる環境を提供します。

サーバ、ミドルウェアからアプリケーションまでの
一貫した保守で運用を手離れ



当社が開発したWebシステムでなくとも導入が可能



運用中のシステムをお持ちの企業様に広く提案が可能

契約顧客数 **107社**
(2024年8月現在)

Webサイトの表示速度は、SEO対策の要素となっているだけでなく、表示速度低下がUXの低下を招くことで事業へ直接的に影響を及ぼします。Webサイト運営企業には表示速度の高速化ニーズが高く、またアクセス数増加に対応すべく、ニーズを満たすKUSANAGIの利用拡大に繋がっております。

Webサイト（表示速度）高速化ニーズ

SEO対策の必要要素として追加

2018年1月にGoogleがWeb表示速度を検索順位に反映させることを公表

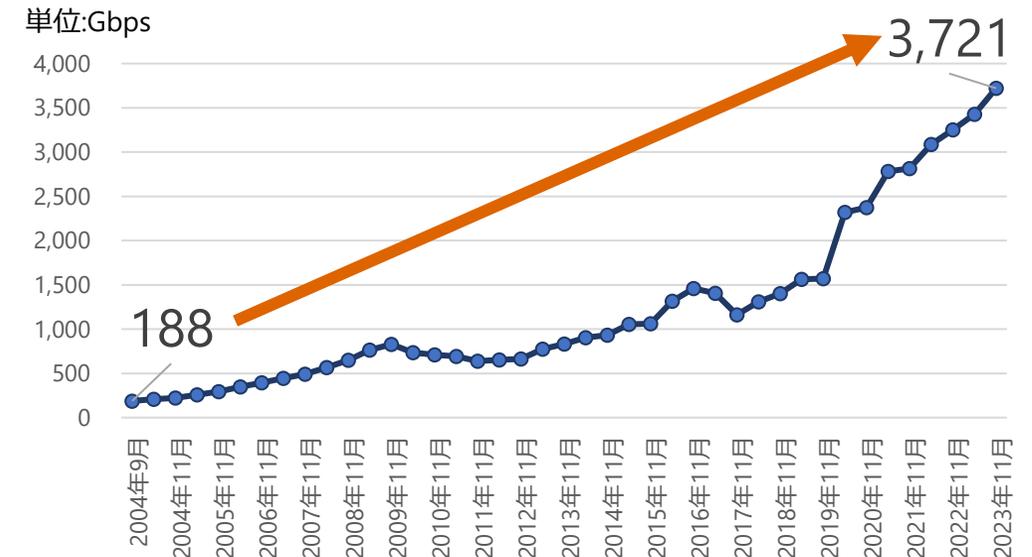
UX（ユーザー体験）低下への影響

Web表示速度によるユーザー行動の直帰率との関係では、ページ表示速度が1秒から3秒に遅延すると直帰率は32%増加し、6秒に遅延すると約2倍に増加すると予想され、直接的な機会損失として認識される



データ流通量（国内ブロードバンドサービス契約者の総トラフィック数（推定値））の推移

✓ データ流通量は、急激なデジタル化の進展とともに爆発的に拡大しているため、アクセス数増加への対応が必須



注釈：2017年5月から協力ISPが5から9社へ変更しているための不連続な数値
出典：総務省「我が国のインターネットにおけるトラフィックの集計・試算-2023年11月のトラフィックの結果の公表」
※上記出典データを加工して当社作成

1. 新代表挨拶と新体制

2. 会社紹介

3. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

4. 四半期ハイライト

5. 市場環境

6. 成長戦略

7. ステークホルダーの皆様へ

主要数値情報・KPI

四半期P/Lサマリー

コスト構造 2024.11期3Q

四半期推移

B/Sサマリー

成長戦略進捗状況

クラウドインテグレーション事業部の再編

売上高 (2024.11期3Q実績 [連結])

2.1 億円

2023.11期通期実績
8.7 億円

KUSANAGIマネージドサービス
顧客数 (2024年8月時点 [連結])

107 社 [★]
2023年11月時点
109 社

KUSANAGI累計稼働台数
(2024年7月時点)

9 万台

営業利益率 (2024.11期3Q実績[連結])

27.1 %

2023.11期通期実績
32.8 %

KUSANAGIマネージドサービス
顧客単価 (2024年8月時点 [連結])

458 千円/月 [★]
2023年11月時点
434 千円/月

KUSANAGI提供プラットフォーム
(2024年9月時点)

世界 **37** ケ国 **203** 地域
28 プラットフォーム

ストック型売上高割合
(2024.11期3Q実績[連結])

83.7 %
2023.11期通期実績
84.4 %

KUSANAGIマネージドサービス
MRR (2024年8月時点 [連結]) (注1)

49,073 千円 [★]
2023年11月時点
48,643 千円

ライセンス提供
MRR (2024年8月時点 [連結]) (注1)

11,305 千円
2023年11月時点
11,476 千円

(注1) MRR (月次経常収益) : 翌月以降も継続して売上が見込める数字

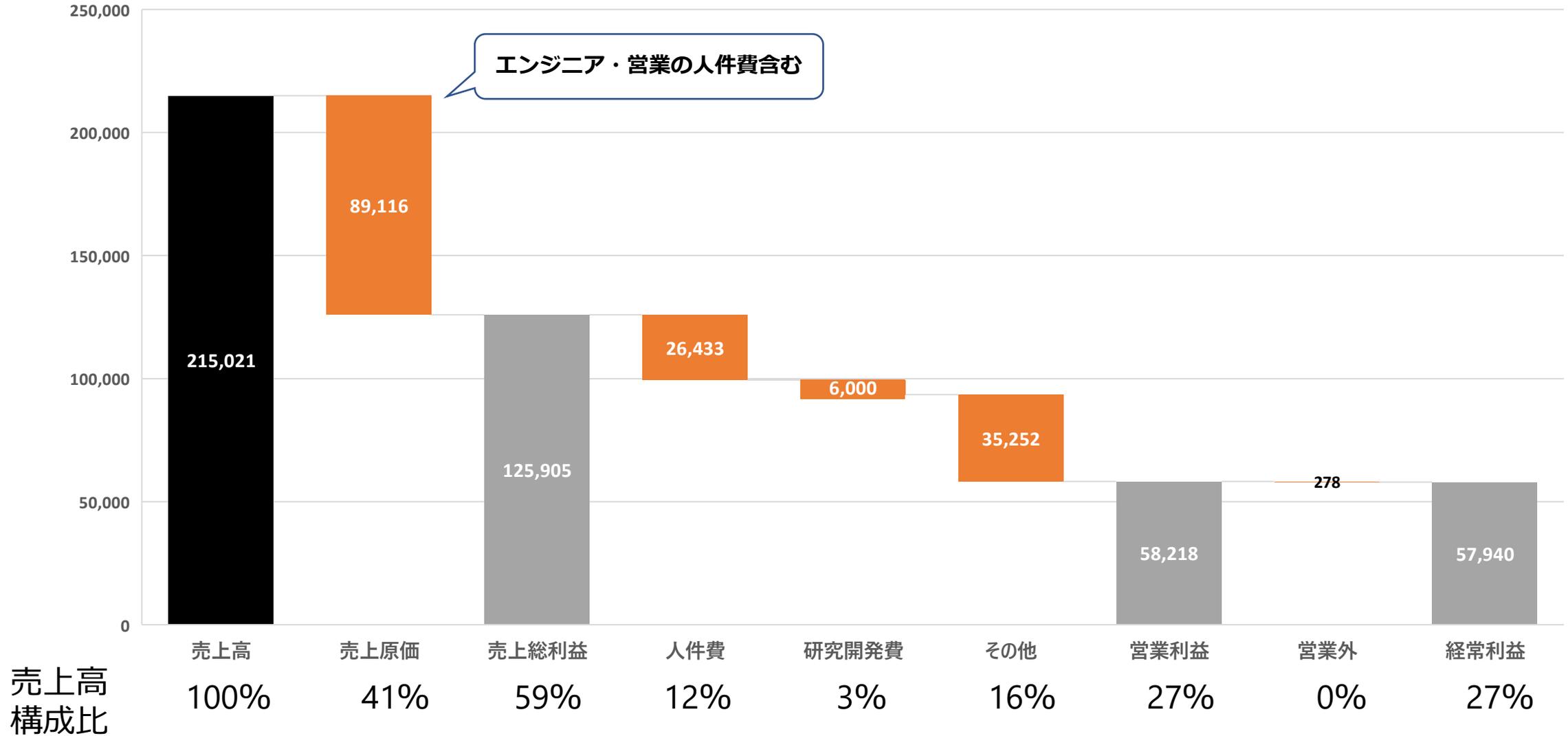
四半期P/Lサマリー

四半期単位では、売上高は前四半期会計期間と比べて1.8%、前年同四半期会計期間と比較して1.1%上昇しています。これは主にクラウドインテグレーションサービスに係る売上が増加したことが要因です。また、営業利益・経常利益については、前四半期会計期間と比べて8%~10%程度増加しています。原価は増加したものの、販管費を低い水準に抑えたことが主な要因です。

(千円)	2024.11期-3Q					2024.11期-3Q累計			【参考】 2024.11期 (通期計画)
	前年同期	前四半期	当期	前年同期比	前四半期比	前年同期	当期	前年同期比	
売上高	212,596	211,297	215,021	101.1%	101.8%	653,081	632,785	96.9%	844,629
KUSANAGIマネージドサービス (ストック売上高)	151,022	145,369	145,904	96.6%	100.4%	460,242	438,256	95.2%	586,976
クラウドインテグレーションサービス (フロー売上高)	26,698	31,076	35,097	131.5%	112.9%	94,698	91,425	96.5%	120,554
ライセンス販売 (ライセンス売上高)	34,875	34,852	34,020	97.5%	97.6%	98,140	103,103	105.1%	137,098
原価	80,064	82,920	89,116	111.3%	107.5%	220,072	249,470	113.4%	350,625
売上総利益	132,531	128,376	125,905	95.0%	98.1%	433,009	383,315	88.5%	494,004
販管費及び一般管理費	69,545	75,845	67,686	97.3%	89.2%	210,877	227,881	108.1%	323,402
営業利益	62,986	52,531	58,218	92.4%	110.8%	222,131	155,434	70.0%	170,602
経常利益	62,782	53,381	57,940	92.3%	108.5%	200,833	155,724	77.5%	170,121

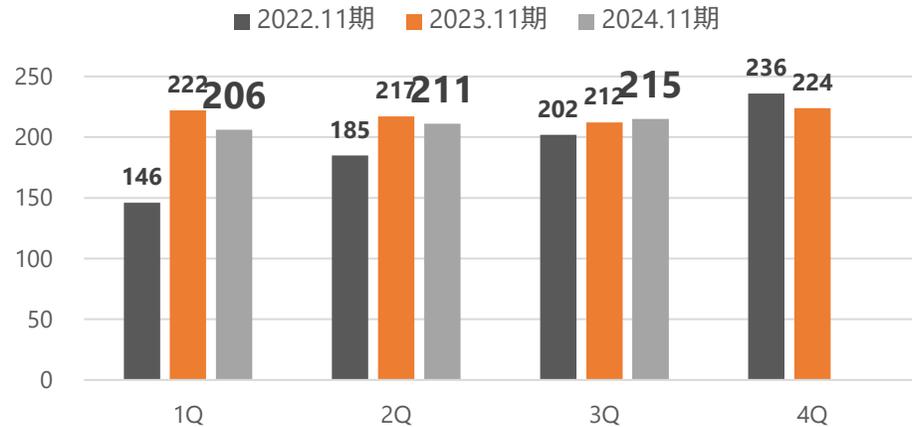
コスト構造 2024.11期3Q

単位：千円

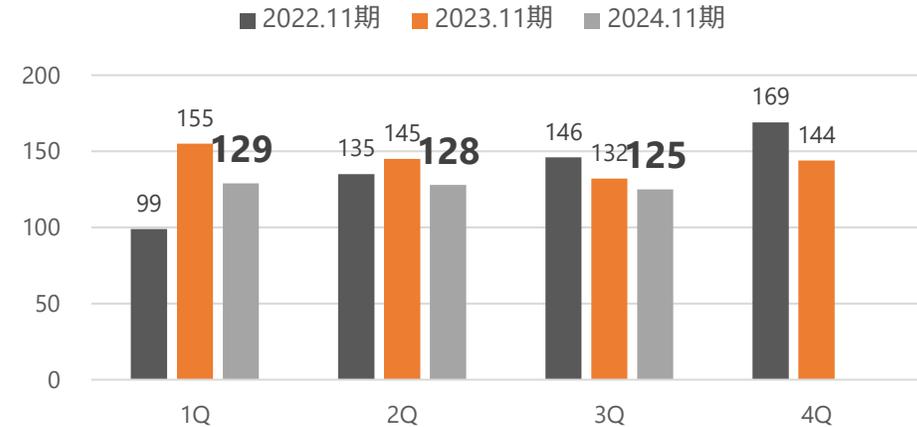


四半期推移（全体）

売上高の推移

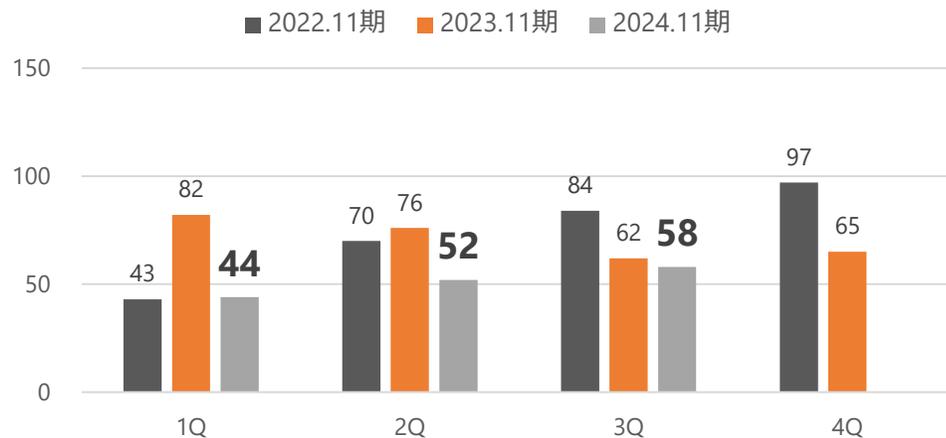


売上総利益の推移

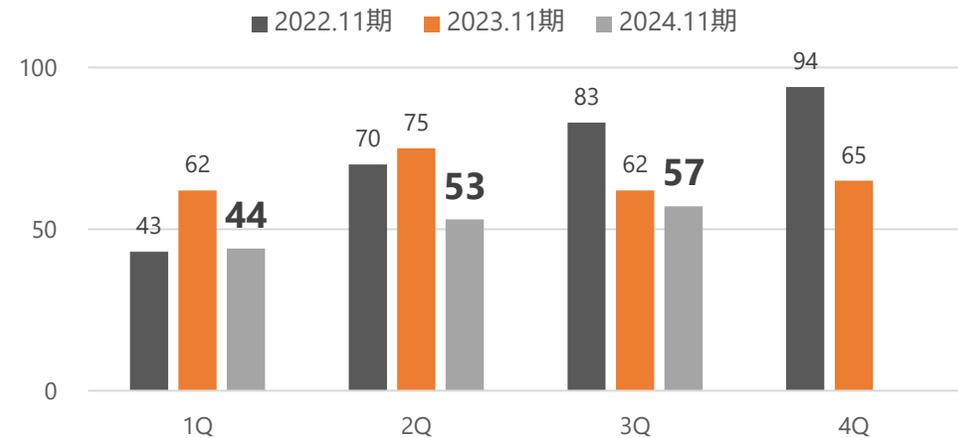


単位：百万円

営業利益の推移



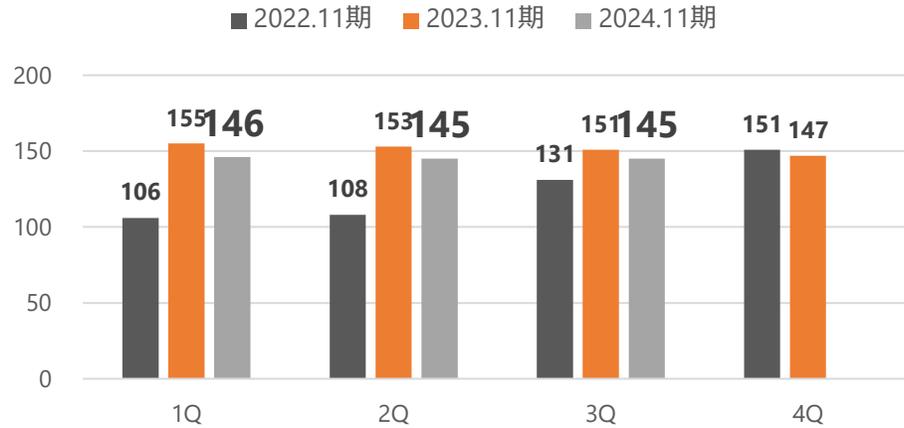
経常利益の推移



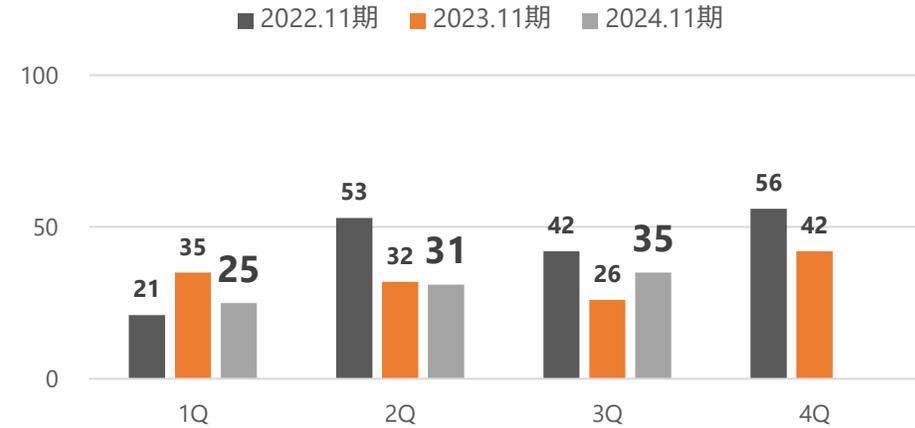
※各四半期の数値は、連結会計期間の数値となります。

四半期推移（サービス別）

KUSANAGIマネージドサービス 売上高の推移

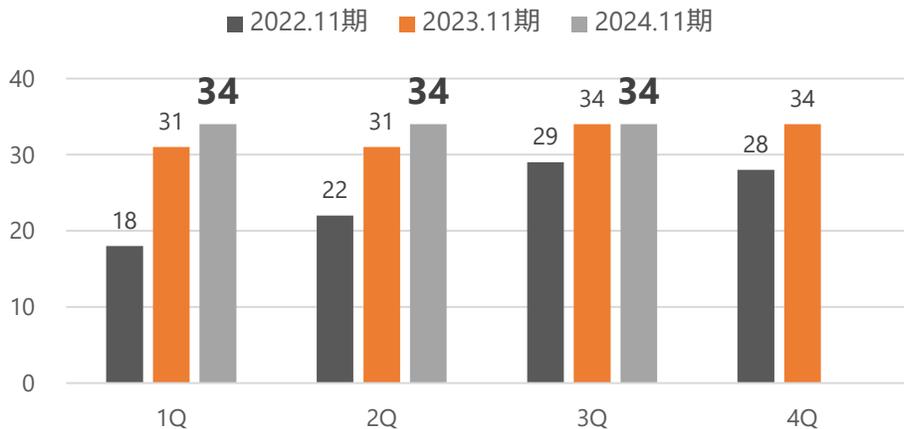


クラウドインテグレーションサービス 売上高の推移



単位：百万円

ライセンス販売 売上高の推移



※各四半期の数値は、連結会計期間の数値となります。

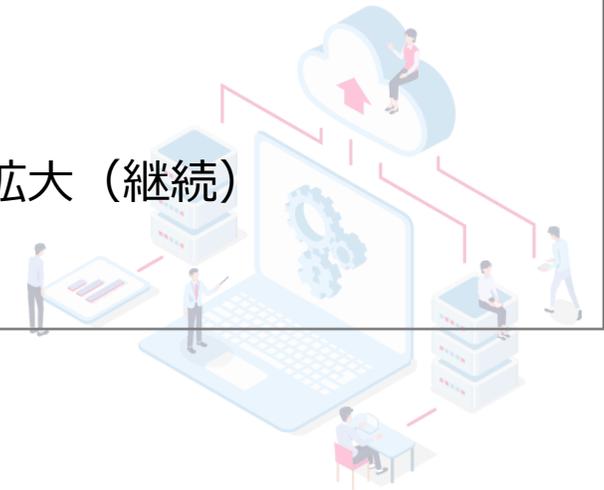
	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
現金及び預金	1,326,025	1,356,712
売掛金	86,736	77,628
その他	31,061	41,523
流動資産合計	1,443,823	1,475,864
有形固定資産	1,620	5,784
無形固定資産	28,661	27,237
投資その他の資産	28,060	63,735
固定資産合計	58,342	96,757
資産合計	1,502,165	1,572,622

単位：千円

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
買掛金	19,870	21,812
1年内返済予定の長期借入金	28,840	34,575
その他	100,214	92,087
流動負債合計	148,924	148,475
長期借入金	54,279	62,805
固定負債合計	54,279	62,805
負債合計	203,203	211,280
純資産の部		
資本金	429,394	439,796
資本剰余金	389,529	399,930
利益剰余金	474,181	516,325
自己株式	△ 96	△ 96
株主資本合計	1,293,008	1,355,955
その他の包括利益累計額	5,953	5,386
純資産合計	1,298,961	1,361,341
負債純資産合計	1,502,165	1,572,622

短期的展開 : CMSプラットフォーム統合サービス(KUSANAGIマネージドサービス)

- パートナー施策を中心とした大型案件の獲得に向けたアプローチ (継続)
- 営業代行会社との連携による新規顧客の開拓 (継続)
- WEBサイト改修、課題解決コラム作成によるインバウンドの新規顧客接点の拡大 (継続)
- セミナーからのリードに対する提案、ナーチャリングの開始 (新規)



KUSANAGI マネージドサービス

この2年ほど続いていた解約が新規契約を上回る状況については営業体制の見直しにより改善が見られ、第3四半期においては新規顧客7件、解約案件4件となり、結果として3件の顧客数増加および月次MRRの向上に繋がっております。



KUSANAGIマネージドサービス推移

	2020.11期	2021.11期	2022.11期	2023.11期	2024.11期 1Q	2024.11期 2Q	2024.11期 3Q
MRR (百万円)	36	35	51	48	48.6	48.5	49.0
顧客数 (社数)	125	114	114	109	107	104	107
新規顧客数	17	14	10	9	2	2	7
解約顧客数	37	25	10	14	4	5	4
顧客単価 (千円)	292	301	363	446	454	467	458
解約率 (%)	1.9	1.5	0.7	1.0	1.2	1.6	1.2
サイト数	-	-	267	269	266	269	275

解約率：期間内の解約数(4社)を期間内の総顧客数(107社)で割り、月次平均に均したもの (カッコ内は2024.11期の数値)

短・中期的展開 : 国内・海外ライセンス展開

- 米国での戦略AI「David」（発明の名称：AUTOMATIC HIGH-SPEED DISPLAY CONTROL METHOD FOR WEB CONTENT）の特許査定
- 日本での戦略AI「David」（発明の名称：ウェブコンテンツの自動高速表示制御方法）とWeb高速化エンジン「WEXAL」（発明の名称：ウェブコンテンツの自動表示制御方法）の特許取得
- KUSANAGIの累計稼働台数が9万台を達成
- Fastlyのマネージドサービスプロバイダー（MSP）プログラムに日本で初参画 連携を強化
- 国内プラットフォーム事業者/海外プラットフォーム等の事業者と技術検証・商談を継続



中長期的展開 : ハイパーオートメーション

- 完全ローカル環境でのLLM実行環境導入・保守サービス「Magatama.AI」の機能の継続的開発を実施
- 社内向けに「WordPressのバージョンが古い」「ページ速度が遅い」などの課題のある顧客の自動抽出ツールを営業に活用

企画開発課・CI課・営業課の新設と役割

- 企画開発部のKUSANAGI基礎開発、有償版ライセンス、その他クラウド事業者様とのパートナー連携を新設した企画開発課へ移行します。今後はKUSANAGI Security Editionの開発と、より定量化したKUSANAGI有償版の売上最大化を図ります。
- 新設のマーケティング部との連携強化を目的として、KUSANAGIマネージドサービス、CMSプラットフォーム統合サービス等の営業については新設した営業課にて行います。新規案件の提案以外に既存の顧客サクセスも担当し、受注と解約防止の両軸で売上の向上を狙います。
- 受注したプロジェクトの迅速かつ高品質な納品を目的として、旧企画開発部・人材開発部のエンジニアをCI課に統合し、より安定した月次ストックの請求活動を行って参ります。

⇒より定量化した成果・売上目標を掲げ、株価最大化を目指して参ります。

1. 新代表挨拶と新体制

2. 会社紹介

3. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

4. 四半期ハイライト

5. 市場環境

6. 成長戦略

7. ステークホルダーの皆様へ

マネージドサービスと
有償版ライセンスの国内潜在市場

マネージドサービスと有償版ライセンスの国内潜在市場

WordPressがサイバー攻撃のターゲットになりセキュリティへの関心度向上

従業員1000人以上の企業

4,042社^{*4}

従業員300人以上1000人未満の企業

11,478社^{*4}

WordPressの
国内CMS
シェアが
83.1%(*1)

IT外製
35.4%*3

IT内製
54.4%*3

上場企業の
WordPress利用数
2022年~2023年
の1年間で
約千サイト増加
(*2)

Web

安全と手離れの良さ

表示速度の超高速化

超高速化&高セキュリティ

KUSANAGI
マネージド
サービス

WEXAL

KUSANAGI有償版ライセンス

- KUSANAGI Business Edition (ビジネス用途)
- KUSANAGI Premium Edition (+フロントエンド最適化)
- KUSANAGI Security Edition (セキュリティ強化)

*1 https://w3techs.com/technologies/segmentation/ci-ja-/content_management

*2 (引用)「上場企業CMS調査レポート」(2023年8月度及び2022年8月度(株式会社DataSign))

*3 <https://www.imagazine.co.jp/gartner-j-soft-dev-in-house2023/>

*4 【令和3年版】国内に法人企業は何社あるでしょう? | NBS ネットビジネスサポート株式会社 (net-biz.jp)

1. 新代表挨拶と新体制

2. 会社紹介

3. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

4. 四半期ハイライト

5. 市場環境

6. 成長戦略

7. ステークホルダーの皆様へ

成長戦略3分野への対応

KUSANAGI Security Edition (KUSANAGI SE)

新パートナープログラム

国内・海外ライセンス展開

成長3分野への今後の対応



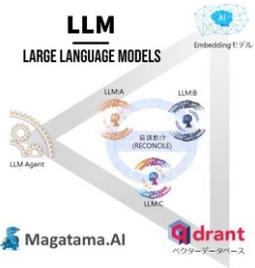
KUSANAGIマネージドサービス

- ・ KUSANAGI Security Edition (KUSANAGI SE) をトリガーにした販売力強化
- ・ インバウンド強化
- ・ インプレス主催Web担当者Forum秋に登壇・スポンサー
- ・ 著名な徳丸浩氏、金谷武明氏を招いたKUSANAGIサミット2024を12月に開催
- ・ YouTubeを活用した動画と広告展開
- ・ 営業人員を当四半期中に1名と第4四半期中に1名の補充を予定



ライセンス

- ・ マーケティング強化と製品力強化に向けて部門再編中。
- ・ 2024年10月9日にKUSANAGI SE発表
- ・ 2024年10月9日に新パートナープログラム発表



新規サービス

- ・ AIビジネスとして部門再編中。
- ・ ソリューション化に向けてのテストセールス中



KUSANAGI Security Edition (KUSANAGI SE) 開発方針 (抜粋)

セキュリティや運用に課題のある企業とCMSなどのWebサイト・Webシステムの構築運用を提供するSIer・制作会社等に標準的に選択いただける基盤となることを目指します

自動アップデート - 運用コストの削減

セキュリティの運用で最も基本的で重要なのが、アップデートです。アップデートを安全に行うためには、専門的な知識と工数が必要です。

KUSANAGI SEはOS、ミドルウェア等の自動アップデート機能を提供することで、運用コストの削減を実現します。

アプリケーションに影響の少ないアップデートの自動化を提供し、AIによるテスト、巻き戻し（レポーティング）機能の提供とともに適用範囲を広げていく予定です。

統一したセキュリティ基準の提供 - マルチクラウド・マルチOS

多くの企業では、様々な環境でWebサイトやWebシステムを運用しています。BCP対策などのため、異なる環境を利用することもあります。

KUSANAGI SEは、複数の基盤で統一したセキュリティ基準と運用を実現します。

また、対応するOSをRed Hat系のLinuxに拡大し、オンプレミス環境へ提供できるようにすることも計画しています。

効率的で柔軟性の高い運用をサポート

KUSANAGI Business Editionで提供していたリスク分析機能「KUSANAGI Analyze」のセキュリティ監査機能を強化し、具体的な指示を提示する効率的で効果の高いレポートを提供します。WordPress向けに特化した監査では、WordPressのセキュアな運用をサポートします。

アラートを送信するための機能も別途提供予定です。

柔軟性の高い運用をサポートするためには、既存の運用フローとの連携も重要です。既存の運用フロー、レポートツール等との連携や自動化を容易にするためのAPIを提供します。また、WAFなどの外部のセキュリティツールを容易に導入できるように連携をすすめることを検討していきます。

目的：制作会社様、インテグレーターの皆様を当社製品・サービスの販売を支援する

対象商品：KUSANAGIマネージドサービス、KUSANAGI SEなど

プログラムグレード：

- KUSANAGI Strategic Alliance Partner
 - KUSANAGI Stackを自社サービスに活用いただくパートナーをご支援するプログラムです。主にプラットフォームからの提供、サービス基盤としての活用を想定しています
- プライム・ストラテジー・プラチナパートナー
 - 共同営業目標により、全面的に支援いたします
- プライム・ストラテジー・ゴールドパートナー
 - 年間の共同マーケティング計画の策定による案件獲得支援をいたします
- プライム・ストラテジー・シルバーパートナー
 - 案件ベースの支援を行います



日本国特許第7523733号
米国特許査定

戦略AI David
ウェブコンテンツの自
動高速表示制御方法

日本国特許第7530383号
米国特許出願・審査中

WEXAL
Page Speed Technology
ウェブコンテンツの
自動表示制御方法

Microsoft Azure

aws



Google Cloud Platform

合計28クラウド事業者

2024年9月現在

地域	知財提携	マーケット プレイス
日本	2社	◎
アジア	TBD	◎
北米	TBD	◎
大洋州	TBD	○
中南米	TBD	○
欧州	TBD	◎
中東	TBD	○
アフリカ	TBD	○

提携先企業の
開拓を実施

1. 新代表挨拶と新体制

2. 会社紹介

3. コアコンピタンス「KUSANAGI Stack」

4. 四半期ハイライト

5. 市場環境

6. 成長戦略

7. ステークホルダーの皆様へ

ステークホルダーの皆様へのメッセージ

代表取締役 吉政 忠志より

WordPressをはじめとするCMSの高い技術と保守力をもったプライム・ストラテジーは、多くのお客様に評価採用され、技術提供や特許取得も実現できました。

プライム・ストラテジーは体制を強化し、より多くのお客様を支援します。

また、AI技術も積極的に活用し、独自のサービスやKUSANAGIへの活用も進めます。

今後の活動にご注目とご支援を引き続き宜しくお願いします。



- 本資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料には、将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます。）が含まれる場合があります。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。本資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている 将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。
- 上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。
- 本資料は、本資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社又は当社の代表者のいずれも、本資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社又は当社の代表者のいずれも、本資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。
- また、当社以外の事項・組織に関する情報が含まれる場合があります。当該情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。
- 本資料に記載しておりますKUSANAGIや他のOSの性能評価で利用した具体的環境は以下のとおりです。

（環境1） AlmaLinux 8.9

Microsoft Azure Standard D4as_v5インスタンス (3.24Ghz AMD EPYC 7763 プロセッサ 4 vCPU, 16GiB), Premium SSD LRS, 東日本リージョン, PHP 8.0.30, Nginx 1.20.1, MariaDB 10.5.22, WordPress 6.4.2

（環境2） KUSANAGI 9.4.8-1

Microsoft Azure Standard D4as_v5インスタンス (3.24Ghz AMD EPYC 7763 プロセッサ 4 vCPU, 16GiB), Premium SSD LRS, 東日本リージョン, PHP 8.0.30, Nginx 1.25.3, MariaDB 10.5.23, WordPress 6.4.2



KUSANAGI